

「平成28年度 ナガエツルノゲイトウ駆除作業（第2回）」参加報告

平成28年7月12日、千葉用水総合管理所では、印旛沼に通じる新川に流れ込む八千代市内の桑納川（かんのうがわ）で行われた、特定外来種植物「ナガエツルノゲイトウ」の駆除作業（第2回）に参加しました。



集合後、打ち合わせ

駆除作業の参加者は、「印旛沼流域水循環健全化会議」の呼びかけにより、東邦大学、千葉大学、環境パートナーシップちば、千葉県、千葉市、八千代市、印旛沼土地改良区、NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）などが参加し、総勢34名となりました。千葉用水総合管理所からも7名の職員が参加しました。（機構からボート1艘を出しています）

今回の駆除作業は

- (1) 水域班：川岸に再発芽したナガエツルノゲイトウ個体を除去する
- (2) 陸上班：陸上に生育しているナガエツルノゲイトウ個体を除去を目的としています。

当日は、梅雨の期間中ということもあり天候の心配もしましたが、予定通り作業を開始できました。ただ、とても蒸し暑い日だったので、作業で熱中症などにならないよう、途中休憩をとりながら慎重に行いました。

作業は、水域作業と陸上作業で4班のチームに分かれて行い、除去したナガエツルノゲイトウは、水域と陸域で土嚢袋を分けて、土嚢袋の重さを集計し、記録しました。



ボートでの作業風景



河岸での除去作業の風景



陸上での除去作業風景

暑い中での作業でしたが作業は順調に進み、熱中症になられた方もなく無事作業が終わりました。

作業終了後には、反省会を行い、今後の作業の予定や駆除方針等について話し合いを行いました。次回は8月5日に行う予定です。

大変お疲れ様でした。



土嚢袋に入れ集計